

“夢”かなうまちへ
～新たな賑わいと交流の創出～

町田市中心市街地まちづくり計画
〔2016年度 - 2030年度〕

An aerial photograph of a densely packed urban area, showing a complex network of streets, buildings, and infrastructure. The image is in black and white, with a green banner overlaid at the bottom left. The banner contains the text "66 夢'かなう まちへ" in a stylized, hand-drawn font.

66 夢'かなう
まちへ



様々な人が「夢」を持って
まちづくりに参加し、
それがまちの力になる。

そして、
まちの魅力が高まり、
訪れる人の「夢のような時間」
につながっていく…

この計画書は、
そんなまちづくりへの思いを込めて
まとめました。

- はじめに | P.01
- 町田市中心市街地
まちづくり計画とは | P.04
- 目次 | P.05
- 本編 | P.07
- 参考資料 | P.85

はじめに

石坂 丈一 / 町田市長

町田市は、市民の皆さんが住み続けたい、市外からもたくさんの方が訪れたいと思うまちづくりを実現するため、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」を2011年12月に策定し、10年を超える長期的な視点で将来を展望する5つの「未来づくりプロジェクト」を打ち出しました。その取り組みの一つとして、「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」をスタートし、新たな賑わいの創出やゆとりの空間の確保に向けた取り組みを進めております。

町田市の周辺都市において、今まさに大型商業施設開発や駅前開発が行われております。厳しい都市間競争の中、町田市が埋没せずに選ばれ続けるまちであるために、「町田市中心市街地まちづくり計画」を策定し、中心市街地のまちづくりの再スタートをきります。

この「町田市中心市街地まちづくり計画」は、町田市中心市街地の将来の姿を、賑わいや交流にあふれ、楽しい時間や新しいこと、人々の出会いや活動のつながりが広がり続けるような『“夢”かなうまち』と掲げ、その実現に向けた取り組みや体制等を示すことで、まちづくりを進める上での“道しるべ”となるものです。

将来のまちの姿の実現のためには、誰もが担い手として参加できるまちづくりを進めていくことが必要です。そして、様々な取り組みの担い手が効果的に力を発揮できるように、町田市中心市街地活性化協議会と町田市は、2015年9月に締結したまちづくりに関する基本協定に基づき、相互に連携してまちづくりを推進してまいります。

最後に、計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言を賜りました町田市中心市街地整備計画策定検討委員会委員の方々、町田市中心市街地のまちづくりに関する意見募集にご協力いただいた多くの皆様に御礼を申し上げます。

今後とも町田駅周辺の魅力づくりに、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大塚 信彰 / 町田市中心市街地活性化協議会 会長

中心市街地整備構想から中心市街地まちづくり計画と、久々に着手出来た計画に中心市街地の事業者の一人として大変感激しております。この間、策定作業に関わられた委員の皆様や、市長をはじめとする市担当者の皆様に改めて厚く感謝申し上げます。

さて、町田市の町田駅を中心とした市街地は、「二六の市」の開設を基点とし、その後訪れた高度経済成長の時代には、小田急線新原町田駅と横浜線原町田駅を統合し町田駅とする事業を核とした各所再開発事業を完成させ、それぞれの時代の消費者ニーズを的確に捉え栄えてきた商業地であります。それ故に各種商業施設の出店もあとを絶たず、商圈人口200万人と言われるほどに隆盛を極めてまいりました。しかしながら昨今の商業環境は、郊外型大型商業施設の台頭、周辺都市の公共投資による駅前整備の進捗等、楽観を許さぬ状況にあります。すでに当時のマスタープランの事業も都市計画道路の完了を以って完成したものと考えており、新たな整備計画策定は喫緊の課題でありました。

今回の計画策定に当たっては、公共と事業者との役割をはじめとし、新業態を構想している事業者や参画思考の強い市民など、新たなまちづくりの担い手の参画を模索し、生活者の視点からの都市のあり方についても議論が出来たように思っております。特に後半は、計画を遂行するにあたって、市と当協議会がどう協働していくかと言う方策について実証実験を踏まえて議論させていただきました。

今後は、昨年当協議会と町田市が締結したまちづくりに関する基本協定に基づき、町田市、町田商工会議所、事業者、市民がそれぞれ知恵を出し合い、信頼関係を構築して、周辺都市に誇れる街、住んでいて良かったと言える「夢まちづくり」をスタートさせましょう。



真野 洋介 / 町田市中心市街地整備計画策定検討委員会 委員長

2年にわたり議論を深め、じっくり練り上げてきた「まちづくり計画」がまとまりました。

この計画書は、長年にわたり町田の商いの舞台を牽引してきた中心市街地の原点を見つめ直した上で、新しい生活の場としてさらに魅力あるまちに育てていこうとする、まちづくりの手引き書です。

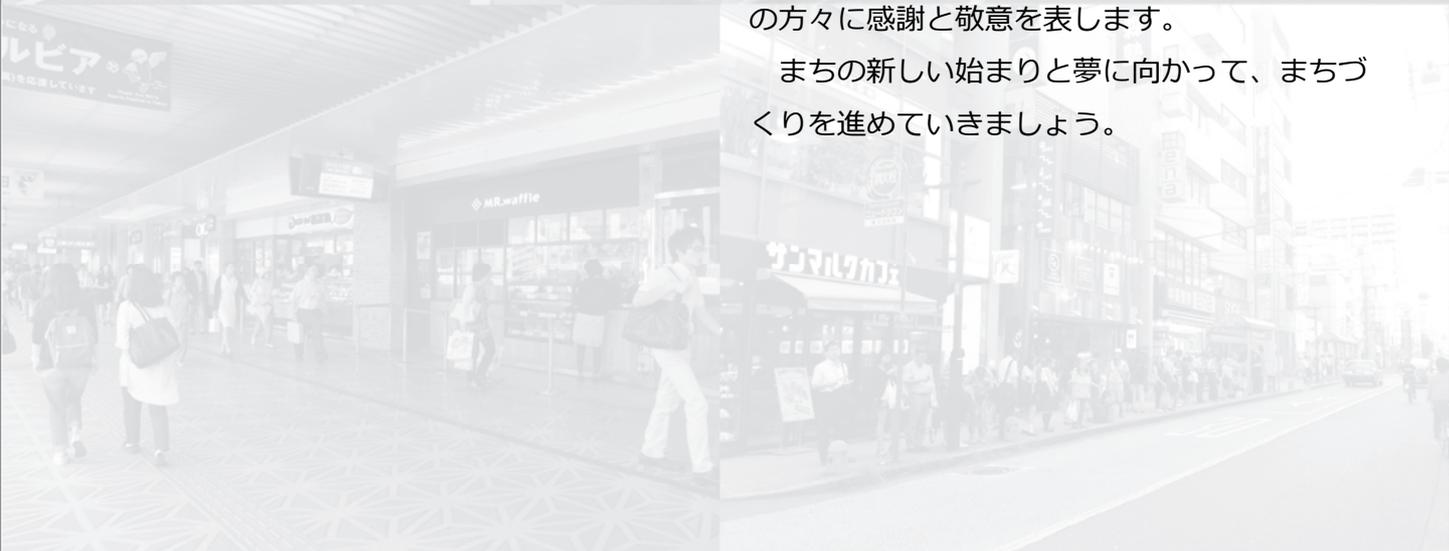
町田の中心市街地は、圏域人口200万人、そして2つの駅と公共交通網を中心に多くの人が流動する、大きな可能性を秘めた場所です。この流動の中には、人材や生活スタイル、文化活動の多様性が含まれており、この多様性を活かした計画を構想し、幅広い市民や事業者が主役となり、多様なプレイヤーが参画しながら、暮らしの質を高めていくためのプロジェクトをすすめます。

また、将来に向けたまちの開発や再整備の方向性を見据え、駅舎や公的施設だけでなく、道や公園、商店街などを含めた、広い意味での公共空間のつながりを再構築し、まちのロビーやリビングとして、子どもからお年寄りまで安心してゆっくり滞在できる、居心地の良い場所を増やしていきます。

この計画書には、いくつかのテーマに沿って、まちづくりの第一歩となる事柄と、じっくり時間をかけて取り組んでいくこととを組み合わせ、スケジュールや評価の目安となる指標とともに示し、段階的にまちづくりを進められる構成になっています。

最後になりましたが、策定検討委員会を代表して、この計画づくりの過程で多くのご意見を頂いた市民、事業者の皆様、市役所の関係各署の方々に感謝と敬意を表します。

まちの新しい始まりと夢に向かって、まちづくりを進めていきましょう。

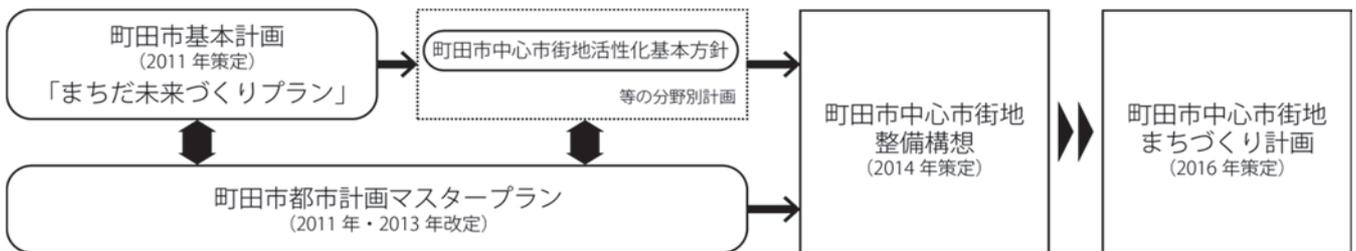


町田市中心市街地まちづくり計画とは

計画の位置づけ

町田市では、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」や「町田市都市計画マスタープラン」に基づき、「町田市中心市街地活性化基本方針」等の分野別計画と連携しながら、中心市街地の更なる整備に向けて、市民・事業者・市の協働のまちづくりの指針として「町田市中心市街地整備構想」を2014年3月に策定しました。

この「町田市中心市街地整備構想」を受け、中心市街地におけるまちづくりを具体的に進めるための計画として「町田市中心市街地まちづくり計画」を策定しました。



町田市中心市街地まちづくり計画の位置づけ

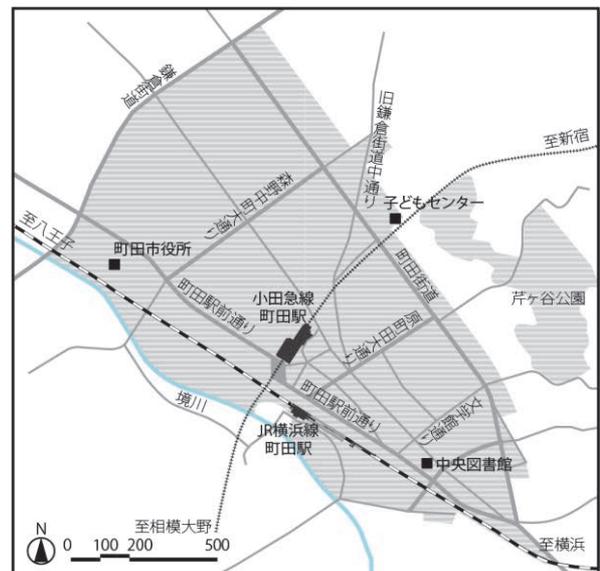
計画の役割

町田中心地域の人口がピークを迎えると予想される2030年のまちの姿を示すとともに、その実現に向けた取り組みや体制等を示すことで、まちづくりを進める上での“道しるべ”となる計画とします。

計画の対象範囲

本計画の対象は、「町田市中心市街地活性化基本方針（2009年策定）」における中心市街地の区域に芹ヶ谷公園を加えた、右図に示す範囲とします。

町田市中心市街地まちづくり計画の対象範囲



次ページ | 目次